

～企業見学～

6月28日（水）に企業見学へ行きました。実際に行かれた方に感想を伺いました。

私にとって企業見学は初めての体験でした。京都ではみられない高層ビルからの眺めが素晴らしく、近代的で広々としたホールに少々緊張した程でしたが、担当者の方の企業説明がとても分かりやすく驚きました。ゲーム開発企業とあって、白熱した多くの質問にも丁寧にお答え頂き、私たちにとって大変貴重な時間となりました。

利用者 A

6月28日に企業見学に行ってきました。この会社ではオンラインゲームの製作・プロデュースをしていますが、中でも印象に残ったのはゲーファ採用という言葉を知ったことです。私自身もよくスマホ・TVゲームを楽しんでいますが、コラボがどのように作られているのかを知る事ができ、とても興味深く感じました。

利用者 B

～実習の感想～

6月は3名の方が実習をされました。それぞれ感想を伺っています。

私は宇治市にある食品会社へ一日の実習に行かせて頂きました。業務内容はたくさんの袋の底面を広げて開封し箱に入れていく作業と、チラシ折りの作業でした。軽作業でしたが、長時間同じことを繰り返すことは私にとって大変でした。作業全般を通じて、正確に行えたので良い経験になったと思います。

利用者 C

私は6月27日に、午前中のみの実習として京都市内の福祉施設へ行きました。実習の主な内容はチラシの三つ折りで、折り目の位置にしっかりと合わせて三つに折ることが出来たと思いました。チラシの三つ折りが進むにつれて手首の疲れも見えましたが、その状態でも集中力を維持出来たところは良かったです。

利用者 D

今回、私は3日間の実習を経験させていただきました。業務内容はPC事務でした。報連相やPCワークの経験が活かされた一方、集中力面での課題があることが分かりました。実習の経験は、自信にもつながり、課題を明確にしてくれます。この経験を成長に変え、今後も就職に向けて頑張っていきたいと思います。

利用者 E

働くチカラweb

8月の予定

発達障害のある方の就職に関する情報をぞくぞくアップしています。ぜひご覧ください！



- 8月11日～15日 夏季休暇
- 8月21日 企業見学
- 8月25日 ソーシャルクラブ
- 8月29日 資生堂ビューティー講座

利用者状況

24名

(2017年7月19日時点)



～ソーシャルクラブの様子～

6月23日（金）に行ったソーシャルクラブの感想を伺いました。

Travel in Osaka

(大阪歴史博物館&NHK大阪放送会館)

私達は、大阪歴史博物館と、その隣にあるNHK大阪放送会館BKプラザを見学しました。歴史博物館では、大阪の古代からの歴史が、模型で展示され、隣のBKプラザでは、私が3歳の時テレビで見た「おかあさんといっしょ」の当時のキャラクターと、朝の連続テレビ小説のヒロイン等が展示され、懐かしいと思いました。

利用者 F



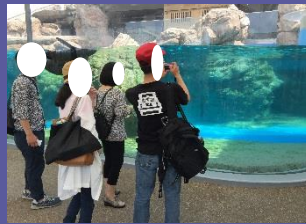
大阪歴史博物館から見た過去の風景と現在の風景を比較

イベントーズ

(京都水族館&京都鉄道博物館)

今回のソーシャルクラブでは京都水族館と京都鉄道博物館に行きました。京都水族館で一番盛り上がったのは、イルカショーです。イルカが飛ぶ姿を見られてすごく盛り上がりました。京都鉄道博物館で最も良かったのは、京都駅開業140周年記念展示が開催されていて、京都駅のこれまでの歴史を知ることができました。

利用者 G



アザラシとイルカショーを観賞

ゆったりsummer

(京都鉄道博物館)

私達のチームは鉄道博物館に行きました。私にとっては入所してすぐのソーシャルクラブだったので正直緊張の方が大きかったのですが、メンバーは鉄道が好きの方が多く皆さんがソーシャルクラブを楽しんでおられたので、そこは良かった所かなと思いました。

利用者 H



展示物を観賞

～ご家族の皆様へ～

祇園祭が終わりましたね。京都では7月に入るとあちこちで「コンチキチン♪」と聞こえます。これを聞くと「夏が来たなあ」と感じるようになった自分に京都という文化少しずつ浸透していることに気づかされます。さて、古き良き文化を繋いでいくことも素敵ですが、エンカレッジでは、3ヶ月に一度の懇談で使用している職業準備評価表と企業訪問時に使用しているマイプロフィールの一部を改定いたしました。大きく変わった訳ではないですが、どちらも伝えたい方に「よりわかりやすく」を目的に改定しています。慣れるまで少し見づらかったり、使いづらかったりする部分もあるかもしれませんが、ご不明な点はお気軽にスタッフにご確認いただければと思います。

所長 山本 愛子

～編集後記～

ご拝読いただきありがとうございます。今回初めてエンカレ通信の編集を担当しました。初めての編集作業だったので上手くできるかどうか不安でした。考えたことをいざ形にすると思ったように表現できず苦労しましたが、何とか発行にこぎつけることができほっとしています。余談ですが、テーマは「五山の送り火」です。

利用者 I

